

末永く市民の憩いの場に

木製デッキとベンチ新調に合わせ

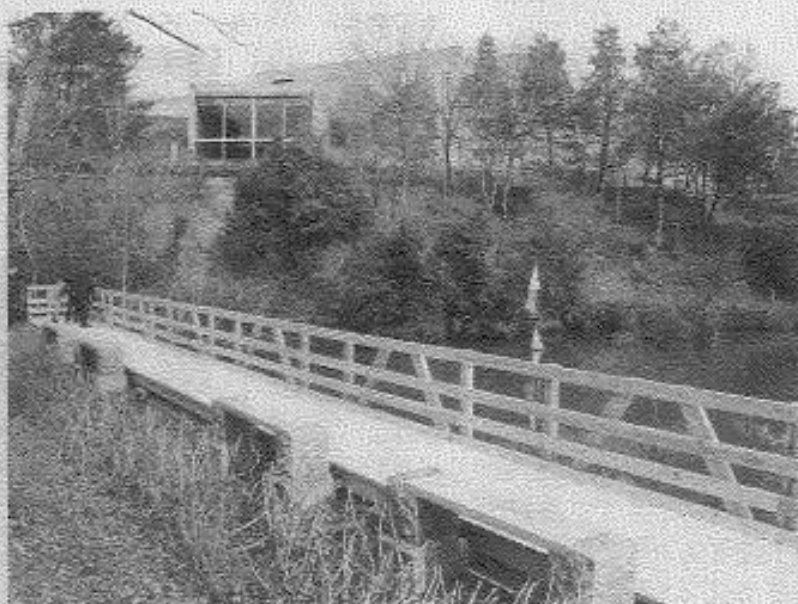
片山化学 防腐加工で貢献

綾部工業団地の「野座池」ほとり

とよさか町の「綾部工業団地・交流プラザ」の南にある「野座池」のほとりの木製デッキ（幅約40尺、奥行き1・44尺）とベンチ4基がこのほど、10年ぶりに新調され、一部通行止めになっていた1周約550尺の周遊路がぐるりと散策できるようになった。【高崎健太】

この改修工事を陰で支えた業者の一つが、

府綾部工業団地に生産拠点を置く工業用薬品メーカー・片山化学工業研究所（本社・大阪



片山化学工業研究所の薬剤で防腐処理が行われた木製デッキ。奥の建物が交流プラザ（写真はいすれもとよさか町で）

市、野村安宏社長）。

今回の工事を知った同社は、自社製品の木材防腐・防蟻剤「ミラクルローレルAZ」2

ザで寄贈品の受領式が行われ、同社綾部工場

16以を発注元である

武内工場長は、この

市と綾部工業団地振興センター（理事長・堀内晋平・堀内機械会長）に寄贈。この薬剤で防

腐加工が施された府内産木材が部材として使

われ、デッキとベンチの長寿命化に貢献した。

久性や安全性に優れていることなどを説明すると、土井専務は「防腐処理を感じさせない自然な仕上がりにな

12日には、交流プラ

語った。



土井専務（左）に目録を手渡した武内工場長